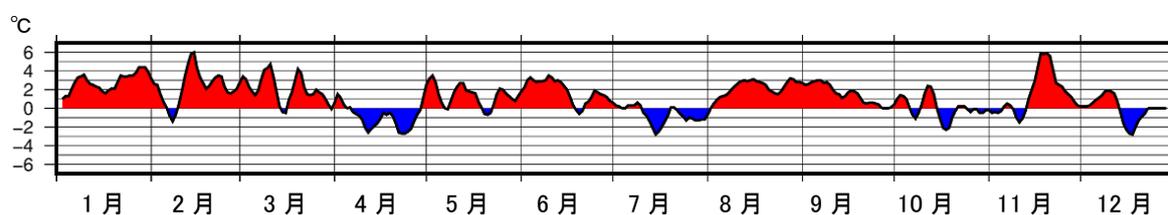


## 2020年（令和2年）の日本の天候（速報）

2020年（令和2年）の日本の天候の特徴：

### ○ 気温の高い状態が続き、年平均気温は全国的にかなり高かった

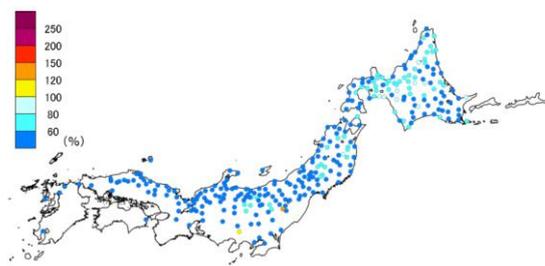
冬（2019年12月～2020年2月）は、冬型の気圧配置が続かず全国的に高温となった。春は、3月と5月に日本の南からの暖かい空気が入りやすく、北・東・西日本で高温となった。夏は、6月は日本の南海上の高気圧が西に張り出して日本付近に暖かい空気が入りやすく、8月は太平洋高気圧に覆われ、全国的に高温となった。秋は、9月前半は高気圧周辺を回る暖かい空気が入り残暑が厳しく、また11月後半は北日本以北を通過する低気圧に向かう暖かい空気が入り、西日本を除き高温となった。このように年間を通して気温の高い状態が続いたため、年平均気温（2020年1月～12月）は全国的にかなり高く、東日本で平年差+1.1℃と1946年の統計開始以来、2018年、2019年と並んで最も高くなっている。



東日本の平均気温平年差（5日移動平均）、2020年1月～12月

### ○ 全国的に暖冬で、東・西日本で記録的な高温・日本海側で記録的な少雪となった

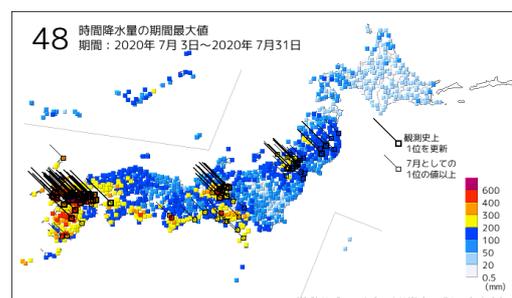
冬型の気圧配置が続かず、全国的に寒気の流入が弱かったため、全国的に気温が高く、特に東・西日本では冬の平均気温の最も高い記録を更新した（統計開始1946/47年冬）。また、全国的に冬の降雪量はかなり少なく、北・東日本日本海側では冬の降雪量の最も少ない記録を更新した（統計開始1961/62年冬）。



2019/20年冬の降雪量平年比

### ○ 「令和2年7月豪雨」など7月は東・西日本で記録的な大雨と日照不足となった

活発な梅雨前線の影響で、東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となり（「令和2年7月豪雨」）、1～72時間降水量の多い記録を九州を中心に多数の地点で更新した。月降水量は東日本太平洋側、西日本で7月として最も多い記録を更新した。月間日照時間も東・西日本で7月として最も少ない記録を更新した（統計開始はともに1946年）。梅雨明けは沖縄地方を除く各地方で遅かった。



48時間降水量の期間最大値  
(2020年7月3日～31日)

本資料は、全国 153 地点の気象台等における 12 月 20 日までの観測データ をもとに、速報としてまとめたものです。12 月 31 日までの観測データ による資料は令和 3 年 1 月 4 日に発表します。

# 1 概況

2020年は、全国的に気温の高い状態が続き、低温は一時的だった。冬は東日本以西、春は北日本、夏は東日本と沖縄・奄美、秋は北日本と沖縄・奄美でかなり高かった。特に東・西日本では冬の平均気温が1946年の統計開始以来、最も高かった。このため、年平均気温は全国的にかなり高く、東日本では年差+1.1℃と1946年の統計開始以来、2018年、2019年と並んで最も高くなっている。全国的に冬の降雪量はかなり少なく、北・東日本日本海側では最も少ない記録を更新した（統計開始1961/62年冬）。7月は活発な梅雨前線の影響で、東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となり（「令和2年7月豪雨」）、東・西日本で記録的な大雨と日照不足となった。梅雨明けは沖縄地方を除き全国的に遅く、東北北部では梅雨明けが特定できなかった。12月は中旬に強い寒気が入り、日本海側中心に大雪となり、群馬県北部など一部で記録的な大雪となった。

季節別の特徴は以下のとおり。

## 【冬】

冬（2019年12月～2020年2月）の日本の天候は、冬型の気圧配置が続かず、全国的に寒気の流入が弱かったため高温となる時期が多く、東日本以西では冬の平均気温がかなり高かった。特に東・西日本では最も高い記録を更新した（統計開始1946/47年冬）。また、全国的に冬の降雪量はかなり少なく、北・東日本日本海側では最も少ない記録を更新した（統計開始1961/62年冬）。

## 【春】

春（3月～5月）の日本の天候は、3月から4月にかけて、西日本を中心に移動性高気圧に覆われる日が多かったことから、春の日照時間は、東日本太平洋側と西日本でかなり多かった。一方、北日本では、発達しながら通過した低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすかったため、沖縄・奄美では3月と5月に前線や暖かく湿った空気の影響を受けやすく、春の降水量は多かった。3月と5月は、南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、春の平均気温は北日本でかなり高かった。

## 【夏】

夏（6月～8月）の日本の天候は、7月は活発な梅雨前線の影響で、東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となった（「令和2年7月豪雨」）。梅雨明けは沖縄地方を除き全国的に遅く、東北北部では梅雨明けが特定できなかった。7月の月降水量は東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側で7月として最も多い記録を更新した。7月の月間日照時間も東・西日本（それぞれ日本海側、太平洋側）で7月としてもっとも少ない記録を更新した（統計開始はともに1946年）。このため、東・西日本の夏の降水量はかなり多かった。また、沖縄・奄美では、期間を通して前線や湿った空気の影響を受けやすかったため、降水量はかなり多かった。暖かい空気に覆われる時期が多かったため、全国的に夏の平均気温は高く東日本と沖縄・奄美ではかなり高かった。特に6月と8月の平均気温は東・西日本でその月としてもっとも高い記録を更新した（統計開始1946年、西日本はともにタイ記録）。

## 【秋】

秋（9月～11月）の日本の天候は、西日本太平洋側では、9月上旬に大型で非常に強い勢力で接近した台風第10号をはじめ、秋の前半を中心に台風や低気圧と前線などの影響を受けたため、秋の降水量は多かった。一方、北日本太平洋側と東日本日本海側、沖縄・奄美では、低気圧の影響を受けにくかったため、秋の降水量は少なかった。北日本では9月前半と11月後半を中心に南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、沖縄・奄美では11月を中心に暖かい空気に覆われたため、秋の平均気温はかなり高かった。

## 2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

### (1) 平均気温

年平均気温（2020年1月～12月）は、全国的にかなり高かった。仙台（宮城県）、富山（富山県）、奈良（奈良県）等の20地点で年平均気温の高い方からの1位の値を更新し、帯広（北海道）、長野（長野県）、鳥取（鳥取県）等の26地点で1位タイの値を記録している。

### (2) 降水量

年降水量は、西日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。佐賀（佐賀県）で年降水量の多い方からの1位の値を更新している。北日本太平洋側、東日本日本海側で平年並だった。

### (3) 日照時間

年間日照時間は、東日本太平洋側、西日本で多かった。一方、北日本太平洋側で少なかった。北・東日本日本海側、沖縄・奄美で平年並だった。

地域平均平年差（比）と階級（2020年）（12月20日までのデータによる）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	1.1 (+)*	101 (○) 日 105 (+) 太 97 (○)	99 (○) 日 100 (○) 太 97 (-)	北海道	1.0 (+)*	93 (-) 日 97 (○) オ 101 (○) 太 84 (-)	100 (○) 日 102 (○) オ 96 (-) 太 101 (○)
東日本	1.1 (+)*	111 (+) 日 105 (○) 太 112 (+)	103 (+) 日 102 (○) 太 103 (+)	東北	1.1 (+)*	110 (+) 日 116 (+) 太 107 (+)	97 (-) 日 99 (○) 太 95 (-)
西日本	0.8 (+)*	120 (+)* 日 123 (+)* 太 117 (+)	106 (+)* 日 106 (+) 太 105 (+)	関東甲信	1.2 (+)*	110 (+)	102 (○)
沖縄・奄美	0.6 (+)*	114 (+)	99 (○)	北陸	1.1 (+)*	105 (○)	102 (○)
				東海	1.2 (+)*	116 (+)	105 (+)
				近畿	1.0 (+)*	116 (+) 日 109 (+) 太 119 (+)	104 (+) 日 104 (+) 太 104 (+)
				中国	0.9 (+)*	112 (+) 陰 109 (+) 陽 115 (+)	106 (+) 陰 105 (+) 陽 107 (+)
				四国	0.8 (+)*	114 (+)	107 (+)*
				九州北部	0.7 (+)	132 (+)*	107 (+)*
				九州南部 ・奄美	0.5 (+) 本 0.6 (+)* 奄 0.4 (+)	117 (+) 本 119 (+)* 奄 107 (+)	102 (+) 本 103 (+) 奄 94 (-)*
				沖縄	0.7 (+)*	116 (+)	101 (○)

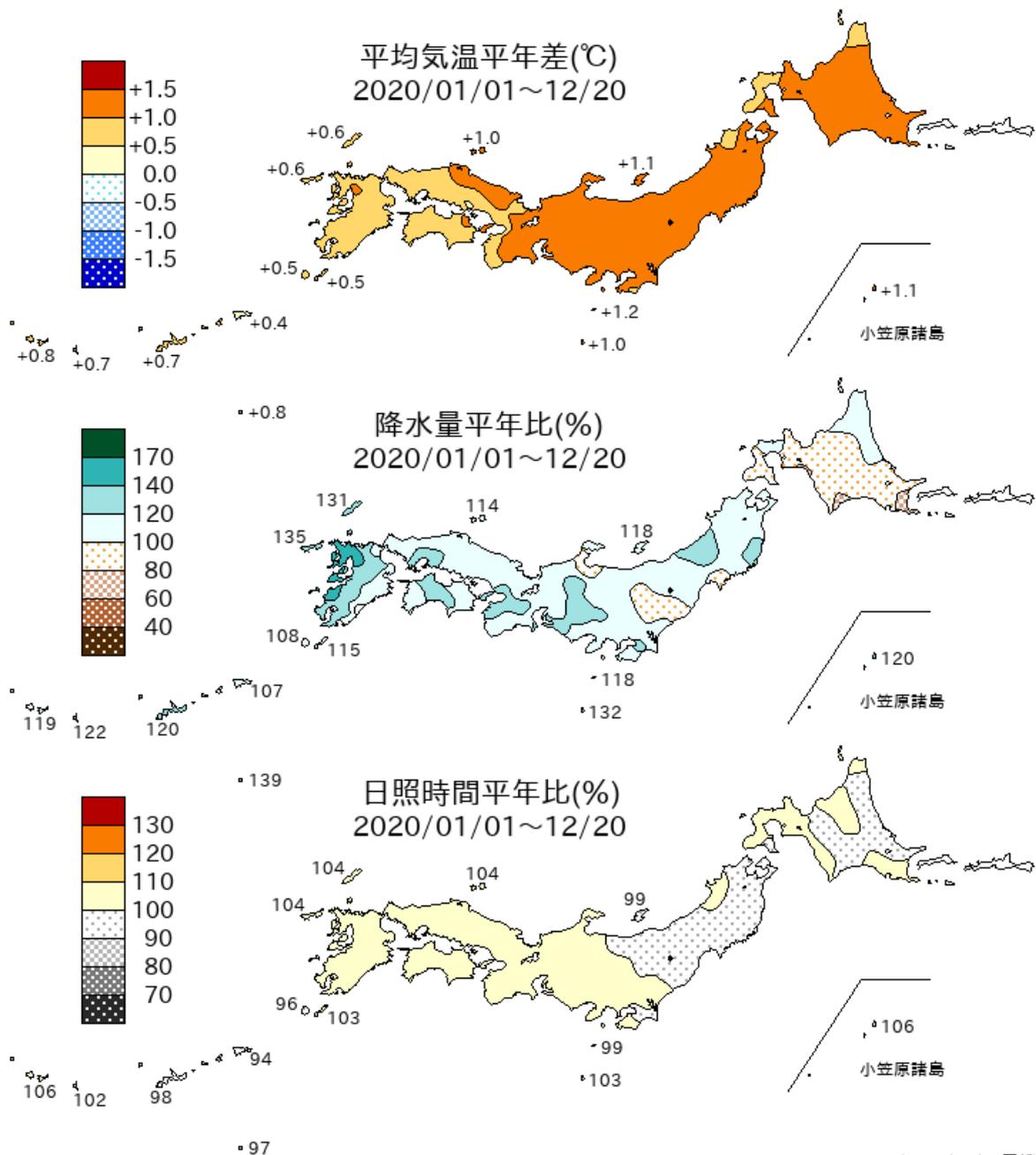
階級表示 ー:低い(少ない) 0:平年並 +:高い(多い)  
\*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)  
オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美  
太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の气象台等での観測値で、観測所数は153地点である。

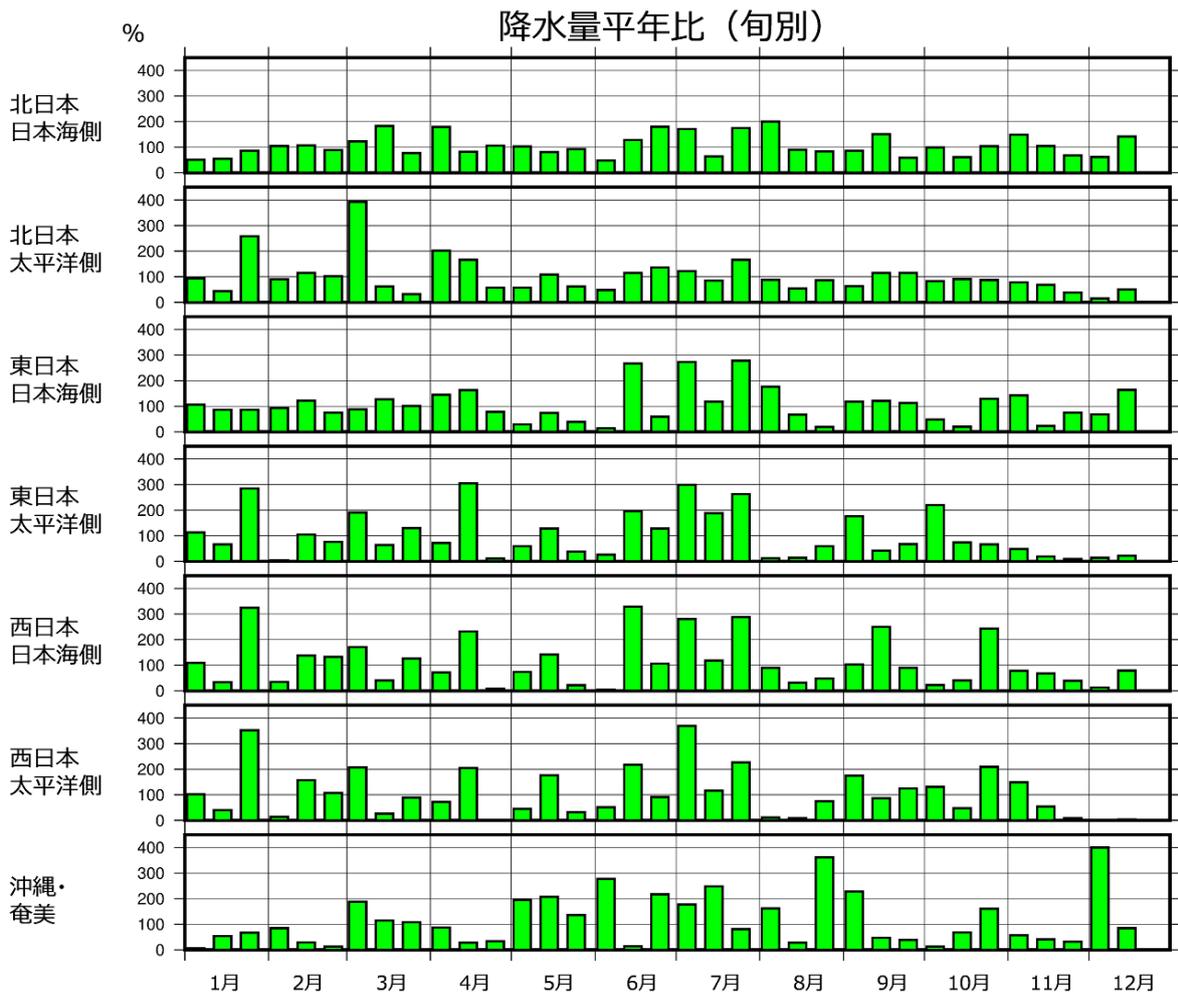
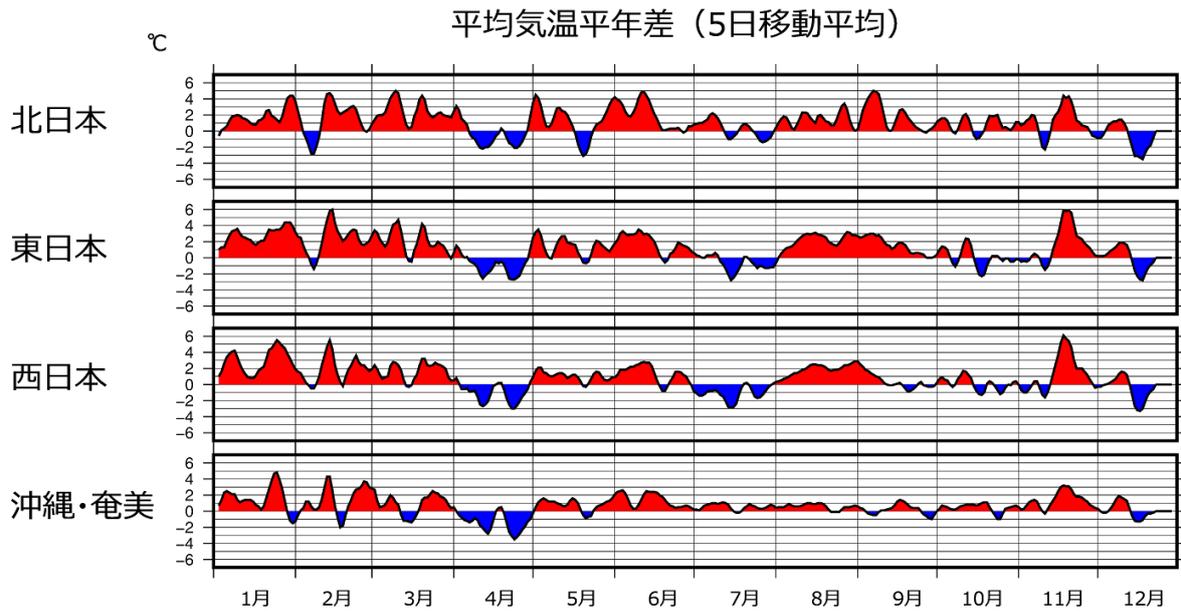
- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981～2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

平年差（比）図（2020年）（2020年12月20日までのデータによる）

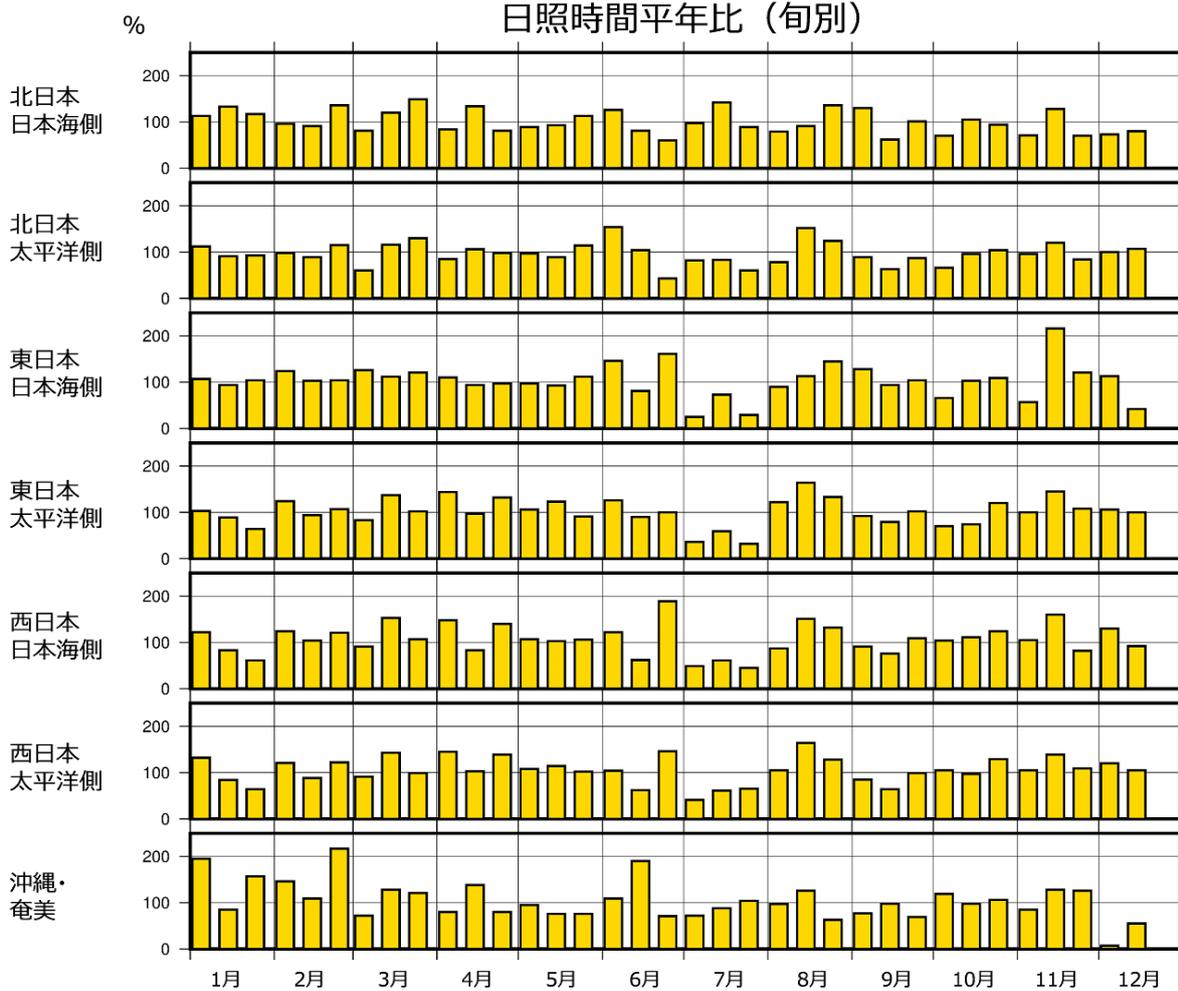


(2020/12/21更新)  
All rights reserved. Copyright(c) Japan Meteorological Agency

地域平均平年差（比）の経過（2020年）（12月20日までのデータによる）



### 日照時間平年比（旬別）



### 観測史上1位の値（月、3か月、年別値）を更新した地点数と地域

- ・全国 153 地点（降雪の深さ、最深積雪は 105 地点）の気象台等の統計値の中で、観測史上 1 位となった地点数を記載した。
- ・値は 1 位を更新した地点数。タイ記録は含まない。タイ記録がある場合には「値々」として横に併記した。
- ・地域は観測史上 1 位（タイ記録を含む）となった地域を記載した。

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	高い方から	低い方から	多い方から	少ない方から	多い方から	少ない方から	多い方から	大きい方から
1月	92、13 ㊦ 東、西		2	3、1 ㊦ 北日				
2月	19、4 ㊦			2	1			
冬	109、2 ㊦ 西		3 西日	4 北日、東日	3			
3月	26、12 ㊦ 北							
4月			5	2	26			
5月	2		1	6				
春				1				
6月	36、14 ㊦ 東、西			1				
7月	1、1 ㊦		17 東太、西		1	45、1 ㊦ 東、西		
8月	42、8 ㊦ 東、西		1	4、1 ㊦ 東太、西太	12 西太			
夏	3、1 ㊦		2					
9月	1							
10月	1							
11月	1 ㊦			1	4			
秋	2							
年(速報) 2020年	20、26 ㊦ 東		1					

平均気温の地域表示

北：北日本  
東：東日本  
西：西日本  
沖奄：沖縄・奄美

降水量、日照時間、降雪の深さ、最深積雪の地域表示

北日：北日本日本海側 北太：北日本太平洋側 北：北日、北太ともに1位  
東日：東日本日本海側 東太：東日本太平洋側 東：東日、東太ともに1位  
西日：西日本日本海側 西太：西日本太平洋側 西：西日、西太ともに1位  
沖奄：沖縄・奄美

## 各地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り(注1)	平 年	梅雨明け(注1)	平 年	梅雨の時期の降水量 年平均比 (注2)
沖 縄	5月16日ごろ(+)	5月9日ごろ	6月12日ごろ(-)*	6月23日ごろ	182%(+)*
奄 美	5月17日ごろ(+)	5月11日ごろ	7月20日ごろ(+)*	6月29日ごろ	126%(+)
九州南部	5月30日ごろ(0)	5月31日ごろ	7月28日ごろ(+)*	7月14日ごろ	176%(+)*
九州北部	6月11日ごろ(+)	6月5日ごろ	7月30日ごろ(+)*	7月19日ごろ	195%(+)*
四 国	6月10日ごろ(+)	6月5日ごろ	7月29日ごろ(+)*	7月18日ごろ	157%(+)*
中 国	6月10日ごろ(+)	6月7日ごろ	7月31日ごろ(+)*	7月21日ごろ	167%(+)*
近 畿	6月10日ごろ(+)	6月7日ごろ	8月1日ごろ(+)*	7月21日ごろ	180%(+)*
東 海	6月10日ごろ(+)	6月8日ごろ	8月1日ごろ(+)*	7月21日ごろ	194%(+)*
関東甲信	6月11日ごろ(+)	6月8日ごろ	8月1日ごろ(+)	7月21日ごろ	178%(+)*
北 陸	6月11日ごろ(0)	6月12日ごろ	8月1日ごろ(+)	7月24日ごろ	162%(+)*
東北南部	6月11日ごろ(0)	6月12日ごろ	8月2日ごろ(+)	7月25日ごろ	160%(+)*
東北北部	6月25日ごろ(+)*	6月14日ごろ	特定できない	7月28日ごろ	142%(+)*

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)\*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)\*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の気象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月。沖縄と奄美は5~6月。)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)\*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)\*: かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%		33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

### 3 季節別の天候経過

冬（2019年12月～2020年2月）：

- 東・西日本で記録的な暖冬となった
- 冬の降雪量は全国的にかなり少なく、北・東日本日本海側で記録的な少雪となった
- 冬の日照時間は東日本太平洋側でかなり少なく、降水量は西日本日本海側でかなり多かった

12月上旬は北日本と沖縄・奄美を中心に、また、2月上旬には北日本で一時的に強い寒気の影響を受けたほかは、冬を通して冬型の気圧配置となる日が少なかったことや、寒気の流入が弱かったことから、全国的に高温となる時期が多かった。冬の平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、北日本で高かった。特に、東・西日本では度々顕著な高温となり、冬の平均気温の平年差がそれぞれ+2.2℃、+2.0℃と、冬として最も高い記録を更新した（統計開始は1946/1947年冬）。地点では、全国の气象台等153地点のうち111地点で最も高い記録を更新した（タイを含む）。

冬の降雪量は全国的にかなり少なく、北・東日本日本海側では平年比がそれぞれ44%、7%と最も少ない記録を更新した（統計開始は1961/1962年冬）。また、冬型の気圧配置となる日が少なく、低気圧の影響も受けにくかったため、冬の降水量も北日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側で少なかったほか、冬の日照時間は北・東日本日本海側で多かった。一方、本州付近を低気圧や前線が通過することが多かったため、冬の降水量は西日本日本海側でかなり多く、西日本太平洋側で多かったほか、冬の日照時間も東日本太平洋側でかなり少なく、西日本で少なかった。沖縄・奄美では、低気圧や前線、寒気の影響を受けにくかったため、冬の日照時間はかなり多く、降水量は少なかった。

平均気温：東・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、北日本で高かった。

降水量：北日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。一方、西日本日本海側ではかなり多く、西日本太平洋側では多かった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

日照時間：沖縄・奄美でかなり多く、北・東日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側でかなり少なく、西日本で少なかった。北日本太平洋側では平年並だった。

春（3月～5月）：

- 春の気温は、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった
- 春の日照時間は、東日本太平洋側と西日本でかなり多かった
- 春の降水量は、北日本と沖縄・奄美で多かった

本州付近を低気圧や前線、高気圧が交互に通過したため、全国的に天気は数日の周期で変わったが、3月から4月にかけて、西日本を中心に移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、春の日照時間は東日本太平洋側と西日本でかなり多く、東日本日本海側で多かった。一方、北・東・西日本では、低気圧や前線、湿った空気の影響で大雨や大荒れの天気となった日があった。特に北日本では、3月と4月に、発達しながら通過した低気圧や前線、湿った空気の影響を時々受けたため、春の降水量は多かった。沖縄・奄美では、3月と5月に前線や湿った空気の影響を受けやすかったため、春の降水量は多かったが、湿った空気の影響を受けにくかった4月の月降水量はかなり少なく、変動が大きかった。

気温は、3月に冬型の気圧配置が現れにくく、また、南からの暖かい空気が流れ込みやすか

ったため、北日本で記録的な高温となるなど全国的に高かった。5月も、南からの暖かい空気に覆われやすく、東・西日本を中心に全国的に高かった。このため、春の平均気温は、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。その一方で、4月は、大陸からの寒気の影響を受けやすかったため、西日本と沖縄・奄美を中心に全国的に低く、月ごとの変動が大きかった。

平均気温：北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

降水量：北日本と沖縄・奄美が多かった。東・西日本では平年並だった。

日照時間：東日本太平洋側と西日本でかなり多く、東日本日本海側が多かった。北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

## 夏（6月～8月）：

- 「令和2年7月豪雨」など、全国各地で大雨が発生した
- 全国的に気温は高く、東日本と沖縄・奄美ではかなり高かった
- 東日本日本海側と沖縄・奄美では日照時間が少なかった

北日本から西日本にかけては、6月上旬は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、6月中旬からは梅雨前線が本州付近に停滞しやすく、曇りや雨の日が多かった。特に7月になると梅雨前線の活動がたびたび活発になり本州付近に停滞した日が多かったため、東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となり、河川の氾濫や土砂災害などの甚大な被害が発生した（「令和2年7月豪雨」）。7月前半中心に、1～72時間降水量の多い記録を九州をはじめとして多数の地点で更新した。7月の月降水量は、東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側で7月として最も多い記録を更新した。7月の月間日照時間も、東・西日本（それぞれ日本海側、太平洋側）で7月としてもっとも少ない記録を更新した（統計開始はともに1946年）。梅雨明けは沖縄地方を除き全国的に遅く、東北北部では梅雨明けが特定できなかった。8月は、東・西日本では一転して太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、北日本では低気圧や前線の影響をたびたび受けたため、天気は数日の周期で変わった。沖縄・奄美では、期間を通して前線や湿った空気の影響を受けやすかったため、夏の降水量はかなり多くなり、夏の日照時間は少なくなった。

夏の平均気温は、全国的に高く、東日本と沖縄・奄美ではかなり高かった。特に、6月は日本の南海上の高気圧が西に張り出して日本付近に暖かい空気が入りやすく、8月は太平洋高気圧に覆われ、東・西日本でそれぞれの月として最も高い記録を更新した（統計開始は1946年、西日本はともにタイ記録）。8月17日には浜松（静岡県）で歴代全国1位タイの41.1℃を観測するなど、全国の気象官署のうち11地点で通年の日最高気温の高い方から1位の値を記録した。

平均気温：東日本と沖縄・奄美はかなり高く、北・西日本では高かった。

降水量：東・西日本と沖縄・奄美はかなり多く、北日本日本海側では多かった。北日本太平洋側は平年並だった。

日照時間：東日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。東日本太平洋側と北・西日本では平年並だった。

## 秋（9月～11月）：

- 秋の気温は北日本と沖縄・奄美でかなり高く東日本で高かった
- 秋の降水量は西日本太平洋側で多く、北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった

## ○ 秋の日照時間は、北日本で少なく、東・西日本日本海側が多かった

秋の前半は、低気圧や前線及び台風の影響で、全国的に曇りや雨の日が多かった。西日本太平洋側では9月上旬に大型で非常に強い勢力で接近した台風第10号をはじめ、低気圧や前線などの影響を受けたため、降水量は多かった。日照時間は、低気圧や前線または寒気の影響を受けることが多かった北日本で少なかった。

秋の後半は、低気圧と高気圧の影響を交互に受けて、全国的に天気は数日の周期で変わったが、東・西日本を中心に移動性高気圧に覆われて晴れる日が多く、また、北日本太平洋側を含めて低気圧の影響を比較的受けにくかった。このため東・西日本日本海側の日照時間は多く、北日本太平洋側と東日本日本海側の降水量は少なかった。また、沖縄・奄美では11月を中心に低気圧の影響を受けにくかったため、降水量は少なかった。一方、北日本日本海側では低気圧や寒気の影響を受けたため、曇りや雨または雪の日が多かった。

気温は、9月前半は北・東日本を中心に高気圧周辺を回る暖かい空気が入り8月に引き続き高く、残暑が厳しかった。また、11月後半は全国的に北日本以北を通過する低気圧に向かう暖かい空気が流れ込み顕著な高温となった。沖縄・奄美では11月を中心に暖かい空気に覆われやすかった。このため、秋の平均気温は北日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高かった。

平均気温：北日本と沖縄・奄美ではかなり高く、東日本で高かった。西日本で平年並だった。

降水量：西日本太平洋側が多かった。一方、北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美で少なく、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本日本海側で平年並だった。

日照時間：北日本で少なかった。一方、東・西日本日本海側で多く、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並だった。

## 4 全国気候表 2020年

全国気候表 (12月20日までのデータによる)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	10.4	(+1.1)	891.0	(83)	145	1737.8	(101)
稚内	8.0	(+0.9)	1192.5	(116)	143	1510.2	(102)
北見枝幸	7.4	(+1.0)	1182.0	(106)	149	1470.3	(96)
旭川	8.3	(+1.0)	925.0	(91)	155	1593.4	(101)
留萌	9.1	(+1.0)	1083.0	(100)	159	1576.8	(103)
羽幌	9.0	(+1.0)	1254.5	(102)	165	1578.8	(100)
岩見沢	9.1	(+1.1)	1109.0	(99)	155	1631.0	(96)
倶知安	8.4	(+1.1)	1384.5	(98)	169	1459.2	(100)
小樽	9.9	(+1.0)	1077.5	(91)	160	1613.9	(100)
寿都	9.9	(+0.9)	1245.0	(109)	160	1413.2	(100)
網走	7.9	(+1.0)	630.0	(82)	107	1753.8	(95)
紋別	7.7	(+1.0)	882.0	(112)	127	1618.7	(95)
雄武	7.1	(+1.1)	873.0	(103)	125	1558.5	(95)
釧路	7.9	(+1.3)	855.5	(83)	82	1944.5	(102)
根室	7.7	(+1.1)	769.5	(77)	85	1862.2	(103)
帯広	8.5	(+1.3)	716.0	(82)	98	1943.1	(98)
広尾	8.3	(+1.1)	1239.5	(74)	121	1751.0	(99)
室蘭	10.0	(+1.1)	980.5	(84)	135	1718.1	(101)
苫小牧	9.1	(+1.2)	931.5	(79)	115	1670.9	(101)
浦河	9.3	(+1.0)	1012.5	(96)	119	1857.2	(103)
函館	10.6	(+1.1)	1095.0	(98)	124	1680.1	(98)
江差	11.3	(+0.9)	983.5	(85)	127	1538.5	(107)
青森	11.9	(+1.2)	1360.0	(109)	151	1581.4	(100)
深浦	11.9	(+0.8)	1546.0	(109)	170	1433.7	(100)
むつ	10.9	(+1.1)	1349.5	(103)	148	1440.2	(91)
八戸	11.6	(+1.1)	1197.5	(119)	122	1687.9	(93)
秋田	13.2	(+1.2)	1958.0	(120)	184	1522.1	(101)
盛岡	11.8	(+1.2)	1446.5	(116)	129	1525.2	(92)
大船渡	12.8	(+1.2)	1550.5	(102)	104	1567.9	(92)
宮古	11.9	(+1.0)	1800.0	(138)	106	1669.3	(91)
仙台	14.1	(+1.4)	1240.0	(100)	98	1745.8	(100)
石巻	13.0	(+1.1)	998.5	(94)	88	1787.4	(95)
山形	13.4	(+1.3)	1258.0	(111)	123	1520.8	(96)
新庄	12.4	(+1.3)	2217.0	(124)	187	1295.7	(98)
酒田	14.2	(+1.2)	2316.0	(127)	184	1538.0	(100)
福島	14.5	(+1.2)	1220.5	(106)	106	1638.4	(97)
若松	13.4	(+1.3)	1325.0	(112)	136	1547.2	(97)
白河	13.0	(+1.2)	1255.0	(90)	112	1683.3	(97)
小名浜	14.9	(+1.2)	1381.5	(99)	107	1961.3	(99)
水戸	15.4	(+1.4)	1421.0	(106)	121	1986.7	(107)
館野(つくば)	15.4	(+1.3)	1335.0	(105)	107	1891.8	(102)
宇都宮	15.4	(+1.3)	1353.5	(91)	105	1883.1	(102)
日光	8.4	(+1.2)	1861.0	(86)	125	1678.2	(98)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	16.2	(+1.3)	1315.5	(106)	96	2073.9	(102)
熊谷	16.5	(+1.2)	1364.0	(107)	101	2025.0	(103)
秩父	14.6	(+1.1)	1542.0	(116)	95	1880.1	(103)
東京	16.8	(+1.1)	1588.5	(105)	107	1819.0	(100)
大島	17.6	(+1.3)	3179.5	(113)	126	1759.1	(100)
三宅島	19.1	(+1.2)	3448.0	(118)	153	1657.5	(99)
八丈島	19.0	(+1.0)	4147.0	(132)	183	1406.4	(103)
父島	24.4	(+1.1)	1509.0	(120)	137	2113.8	(106)
千葉	17.3	(+1.3)	1783.5	(130)	114	1814.9	(98)
銚子	16.9	(+1.2)	1782.5	(108)	132	1848.0	(97)
館山	17.4	(+1.2)	1957.0	(111)	122	1914.2	(102)
勝浦	16.9	(+0.9)	1992.0	(102)	125	1895.5	(102)
横浜	17.3	(+1.2)	1679.0	(100)	107	1936.9	(102)
長野	13.5	(+1.2)	1013.0	(110)	103	1890.1	(100)
松本	13.4	(+1.2)	1062.0	(104)	85	2047.3	(100)
諏訪	12.6	(+1.2)	1508.0	(119)	107	2128.3	(103)
軽井沢	9.6	(+1.1)	1386.0	(112)	102	1932.7	(101)
飯田	14.1	(+1.0)	2134.5	(134)	112	2102.3	(107)
甲府	16.3	(+1.3)	1430.0	(127)	88	2167.7	(103)
河口湖	12.1	(+1.2)	1649.0	(106)	105	1904.2	(101)
静岡	18.2	(+1.3)	2601.5	(112)	106	2169.2	(107)
浜松	17.9	(+1.2)	2235.0	(124)	105	2244.7	(106)
御前崎	18.0	(+1.3)	2060.0	(101)	115	2235.1	(103)
三島	17.6	(+1.4)	2258.0	(121)	107	1966.7	(104)
石廊崎	17.9	(+1.0)	2058.0	(117)	120	2118.4	(103)
網代	17.3	(+1.0)	2064.0	(105)	117	1775.8	(102)
名古屋	17.4	(+1.2)	1699.5	(112)	108	2165.1	(106)
伊良湖	17.5	(+1.2)	2048.0	(129)	111	2226.9	(104)
岐阜	17.3	(+1.1)	2070.5	(114)	106	2122.9	(104)
高山	12.6	(+1.2)	2127.5	(128)	123	1663.0	(104)
津	17.4	(+1.2)	1781.5	(113)	106	2117.7	(104)
上野	15.8	(+1.3)	1707.5	(126)	107	1804.6	(105)
尾鷲	17.6	(+1.2)	3865.0	(101)	108	1920.1	(101)
四日市	16.3	(+1.2)	2010.5	(117)	108	1953.5	(102)
新潟	15.1	(+1.1)	1986.0	(113)	174	1589.4	(98)
相川	15.3	(+1.1)	1719.5	(118)	171	1595.5	(99)
高田	15.0	(+1.1)	2852.0	(109)	185	1541.2	(98)
富山	15.7	(+1.3)	2032.5	(92)	178	1646.8	(104)
伏木	15.4	(+1.1)	1950.0	(91)	175	1707.2	(107)
金沢	16.2	(+1.2)	2394.5	(104)	185	1717.0	(104)
輪島	14.9	(+1.1)	2055.0	(102)	184	1564.4	(101)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	16.0	(+1.1)	2395.0	(111)	171	1672.3	(105)
	敦賀	16.7	(+1.1)	2299.0	(113)	173	1588.7
彦根	16.2	(+1.2)	1791.0	(116)	129	1865.9	(104)
京都	17.3	(+1.1)	1621.5	(110)	108	1797.6	(104)
	舞鶴	15.8	(+0.9)	1910.5	(107)	139	1563.0
大阪	18.0	(+0.8)	1503.0	(119)	99	2087.1	(107)
神戸	18.0	(+0.9)	1601.0	(133)	94	2119.9	(105)
	豊岡	15.8	(+1.2)	2033.0	(104)	143	1501.2
姫路	16.6	(+1.0)	1245.0	(104)	88	2057.2	(104)
	洲本	17.1	(+1.4)	1758.0	(126)	93	2001.7
奈良	16.7	(+1.5)	1613.0	(124)	102	1834.0	(103)
和歌山	17.9	(+0.9)	1632.0	(125)	101	2130.3	(105)
	潮岬	18.2	(+0.6)	2697.0	(108)	117	2252.9
岡山	16.9	(+0.4)	1138.0	(104)	81	2099.1	(106)
	津山	15.0	(+1.0)	1485.0	(106)	106	1884.5
広島	17.4	(+0.8)	1988.0	(130)	94	2115.2	(106)
	呉	17.4	(+0.9)	1623.5	(118)	94	2149.3
福山	16.5	(+0.8)	1290.0	(116)	84	2134.8	(104)
松江	16.2	(+1.0)	1930.5	(111)	130	1749.9	(105)
	西郷	15.5	(+1.0)	1992.0	(114)	135	1784.4
浜田	16.6	(+0.8)	1811.5	(111)	122	1842.5	(107)
鳥取	16.3	(+1.1)	1977.0	(107)	148	1694.3	(103)
	米子	16.4	(+1.1)	1784.0	(103)	127	1779.8
境	16.5	(+1.1)	1996.5	(108)	140	1742.3	(103)
徳島	17.8	(+0.9)	1634.5	(113)	89	2173.0	(106)
高松	17.7	(+1.1)	1096.5	(102)	83	2114.9	(105)
	多度津	17.5	(+0.9)	1174.5	(111)	87	2183.9
松山	17.7	(+0.9)	1624.0	(125)	91	2110.0	(107)
	宇和島	17.9	(+0.8)	1799.5	(110)	103	2069.9
高知	18.1	(+0.8)	3214.0	(127)	111	2237.4	(107)
	宿毛	18.1	(+0.9)	2248.5	(115)	115	2200.8
清水	19.0	(+0.5)	2658.5	(108)	112	2247.1	(104)
	室戸岬	17.6	(+0.7)	2684.0	(116)	121	2210.8
山口	16.5	(+0.8)	2242.5	(120)	107	1957.0	(109)
	下関	17.7	(+0.7)	1912.5	(115)	101	1976.8
萩	16.6	(+0.8)	1813.5	(111)	111	1851.2	(109)
福岡	18.2	(+0.9)	2170.0	(136)	103	2002.8	(109)
	飯塚	16.8	(+0.8)	2020.0	(115)	105	1954.0

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	17.7	(+1.0)	1840.0	(112)	101	2097.9	(107)
	16.7	(+0.9)	2468.0	(138)	107	1876.4	(106)
長崎	18.0	(+0.5)	2668.5	(145)	114	1940.4	(106)
	16.7	(+0.6)	2901.5	(131)	97	1879.1	(104)
平戸	17.1	(+0.7)	3032.0	(145)	112	1887.5	(108)
	18.0	(+0.7)	2761.0	(143)	100	2023.2	(108)
佐世保	18.0	(+0.7)	2761.0	(143)	100	2023.2	(108)
	13.6	(+0.5)	4097.5	(143)	120	1553.0	(110)
雲仙	13.6	(+0.5)	4097.5	(143)	120	1553.0	(110)
	17.7	(+0.6)	3123.0	(135)	119	1803.8	(104)
福江	17.7	(+0.6)	3123.0	(135)	119	1803.8	(104)
	17.9	(+1.1)	2846.0	(153)	104	2051.7	(107)
佐賀	17.9	(+1.1)	2846.0	(153)	104	2051.7	(107)
	17.9	(+0.6)	2446.0	(124)	102	2078.1	(106)
熊本	17.9	(+0.6)	2446.0	(124)	102	2078.1	(106)
	16.6	(+0.8)	3147.5	(133)	126	1844.8	(103)
人吉	16.6	(+0.8)	3147.5	(133)	126	1844.8	(103)
	18.8	(+0.5)	3075.0	(158)	116	2019.6	(106)
牛深	18.8	(+0.5)	3075.0	(158)	116	2019.6	(106)
	18.6	(+0.9)	2264.0	( 91)	116	2137.4	(104)
宮崎	18.6	(+0.9)	2264.0	( 91)	116	2137.4	(104)
	17.6	(+0.7)	2345.0	(102)	105	2183.3	(106)
延岡	17.6	(+0.7)	2345.0	(102)	105	2183.3	(106)
	17.7	(+0.9)	3287.0	(134)	131	1962.8	(104)
都城	17.7	(+0.9)	3287.0	(134)	131	1962.8	(104)
	18.9	(+0.4)	2635.0	(102)	119	1933.5	(102)
油津	18.9	(+0.4)	2635.0	(102)	119	1933.5	(102)
	19.5	(+0.6)	2949.0	(131)	124	1979.5	(104)
鹿児島	19.5	(+0.6)	2949.0	(131)	124	1979.5	(104)
	18.1	(+0.6)	3095.0	(152)	117	2047.1	(107)
阿久根	18.1	(+0.6)	3095.0	(152)	117	2047.1	(107)
	18.9	(+0.6)	2972.5	(138)	120	1931.9	(102)
枕崎	18.9	(+0.6)	2972.5	(138)	120	1931.9	(102)
	20.1	(+0.5)	4778.5	(108)	170	1444.9	( 96)
屋久島	20.1	(+0.5)	4778.5	(108)	170	1444.9	( 96)
	20.3	(+0.5)	2664.0	(115)	135	1818.3	(103)
種子島	20.3	(+0.5)	2664.0	(115)	135	1818.3	(103)
	22.2	(+0.4)	2980.0	(107)	177	1254.9	( 94)
名瀬	22.2	(+0.4)	2980.0	(107)	177	1254.9	( 94)
	23.1	(+0.6)	1918.0	(107)	115	1732.2	( 94)
沖永良部	23.1	(+0.6)	1918.0	(107)	115	1732.2	( 94)
	23.9	(+0.7)	2399.0	(120)	121	1707.0	( 98)
那覇	23.9	(+0.7)	2399.0	(120)	121	1707.0	( 98)
	23.4	(+0.6)	2613.5	(132)	144	1669.5	( 97)
名護	23.4	(+0.6)	2613.5	(132)	144	1669.5	( 97)
	23.9	(+0.8)	2848.0	(138)	137	1680.4	( 97)
久米島	23.9	(+0.8)	2848.0	(138)	137	1680.4	( 97)
	24.5	(+0.7)	2400.0	(122)	136	1764.9	(102)
宮古島	24.5	(+0.7)	2400.0	(122)	136	1764.9	(102)
	25.2	(+0.8)	2451.5	(119)	133	1927.0	(106)
石垣島	25.2	(+0.8)	2451.5	(119)	133	1927.0	(106)
	24.7	(+0.9)	1937.0	( 86)	132	1725.6	(101)
西表島	24.7	(+0.9)	1937.0	( 86)	132	1725.6	(101)
	24.7	(+0.7)	1907.0	( 83)	148	1580.3	(101)
与那国島	24.7	(+0.7)	1907.0	( 83)	148	1580.3	(101)
	24.2	(+0.8)	2153.5	(139)	129	2021.9	( 97)
南大東島	24.2	(+0.8)	2153.5	(139)	129	2021.9	( 97)

日数の値の横の ] は、日数を求めるための日別データに欠測等が許容範囲を超えて含まれていることを示す。

## 5 極値順位更新表 2020 年

平年差（比）が観測史上1位を上回っている地点（12月20日までのデータによる）

年平均気温の平年差が最高値を上回っている地点

地点名	2020年(12月20日まで)			これまでの最大 平年差(西暦年) ℃	開始年
	平年差 ℃	値 ℃	平年値* ℃		
倶知安	+1.1	8.4	7.3	+1.0 (1990)	1944
帯広	+1.3=	8.5	7.2	+1.3 (2015)	1892
秋田	+1.2=	13.2	12.0	+1.2 (2019)	1882
大船渡	+1.2=	12.8	11.6	+1.2 (2015)	1963
仙台	+1.4	14.1	12.7	+1.3 (2015)	1926
石巻	+1.1=	13.0	11.9	+1.1 (1990)	1887
山形	+1.3	13.4	12.1	+1.2 (1990)	1889
新庄	+1.3	12.4	11.1	+1.2 (1990)	1957
酒田	+1.2	14.2	13.0	+1.1 (2019)	1937
福島	+1.2=	14.5	13.3	+1.2 (2018)	1889
若松	+1.3	13.4	12.1	+1.2 (2016)	1953
白河	+1.2=	13.0	11.8	+1.2 (2018)	1940
日光	+1.2=	8.4	7.2	+1.2 (2018)	1944
大島	+1.3	17.6	16.3	+1.2 (2018)	1938
三宅島	+1.2=	19.1	17.9	+1.2 (2019)	1942
父島	+1.1	24.4	23.3	+1.0 (2016)	1968
長野	+1.2=	13.5	12.3	+1.2 (2016)	1889
諏訪	+1.2=	12.6	11.4	+1.2 (2018)	1945
軽井沢	+1.1=	9.6	8.5	+1.1 (2018)	1925
飯田	+1.0=	14.1	13.1	+1.0 (2018)	1897
甲府	+1.3=	16.3	15.0	+1.3 (2018)	1894
河口湖	+1.2=	12.1	10.9	+1.2 (2018)	1933
静岡	+1.3=	18.2	16.9	+1.3 (2019)	1940
浜松	+1.2	17.9	16.7	+1.1 (2019)	1882
御前崎	+1.3=	18.0	16.7	+1.3 (2019)	1932
三島	+1.4	17.6	16.2	+1.2 (2019)	1930
名古屋	+1.2=	17.4	16.2	+1.2 (2019)	1890
伊良湖	+1.2=	17.5	16.3	+1.2 (2004)	1947
上野	+1.3=	15.8	14.5	+1.3 (2016)	1937
尾鷲	+1.2	17.6	16.4	+1.0 (2019)	1938
相川	+1.1	15.3	14.2	+0.9 (2019)	1911
高田	+1.1	15.0	13.9	+1.0 (2004)	1922
富山	+1.3	15.7	14.4	+1.1 (2019)	1939
伏木	+1.1	15.4	14.3	+1.0 (2019)	1883
金沢	+1.2=	16.2	15.0	+1.2 (2019)	1882
輪島	+1.1	14.9	13.8	+1.0 (2004)	1929
福井	+1.1=	16.0	14.9	+1.1 (2019)	1897
敦賀	+1.1=	16.7	15.6	+1.1 (2016)	1897
彦根	+1.2	16.2	15.0	+1.1 (2019)	1893

豊岡	+1.2	15.8	14.6	+1.1	(2019)	1918
洲本	+1.4	17.1	15.7	+1.2	(1998)	1919
奈良	+1.5	16.7	15.2	+1.4	(2019)	1953
西郷	+1.0	15.5	14.5	+1.0	(1998)	1939
鳥取	+1.1	16.3	15.2	+1.1	(2019)	1943
米子	+1.1	16.4	15.3	+1.1	(2019)	1939
境	+1.1	16.5	15.4	+1.1	(2019)	1883

年降水量の平年比が最大値を上回っている地点

地点名	2020年(12月20日まで)			これまでの最大 平年比(西暦年)	開始年
	平年比 %	値 mm	平年値* mm		
佐賀	153	2846.0	1856.6	141 (1953)	1890

平年値\* は日別平年値を平均・合計したものである。

○本資料に関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索 > 利用される方へ > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>



(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月15日頃に気象庁ホームページの「日本の天候の特徴と見通し」で詳しく解説しています。

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/>

